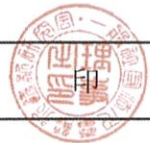


2025年度 研究サマリー

研究会名称	電解水透析研究会		
代表者所属	聖路加国際大学		
代表者氏名	中山昌明		

研究タイトル：電解水血液透析患者の実態調査

<目的>
電解水血液透析治療を受けている国内患者の2024年末時点の実態把握：横断観察研究。（2018年6月聖路加国際病院倫理委員会承認）

<方法>
解析対象：本研究に参加している施設で、過去本調査に登録されている例（電解水透析を前年から継続施行している例）および当該年から新規に開始した例。
評価項目：2024年末時点における患者特性、透析状況、合併症、転帰（継続、転院、死亡）に関する記述統計。
死亡調査：当該年の通院施設での死亡、転院例の転院後1か月以内の死亡は死亡例としてカウント

<結果>
登録17施設。対象患者数2,115例（前年からの継続例1,866例、新規開始例249例）。観察中止例146例（自己都合転院81例、治療目的転院56例、その他移植など10例）、死亡160例。年間粗死亡率7.5%。
各患者群の特性：

	継続例	新規登録例	死亡例
n	1,866	249	160
男性(%)	1,250 (67.0%)	171 (68.6%)	107 (66.8%)
年齢(歳)	71 ± 12	70 ± 14	78 ± 11
透析期間(月)	107 ± 90	9 (0 - 488)	114 ± 91
電解水透析(月)	47 (6 - 1499)	5 ± 3	52 ± 39
OL-HDF(%)	1,266 (67.8%)	99 (39.7%)	38 (記載例85例)
Dry weight (kg)	58.5 ± 14.4	58.6 ± 13.6	52.3 ± 13.3
併発症既往(%)			
糖尿病	604 (32.4%)	126 (50.6%)	56 (35.0%)
虚血性心疾患	630 (33.7%)	46 (18.4%)	56 (35.0%)
脳卒中	431 (23.0%)	38 (15.2%)	39 (24.3%)
検査値			
ヘモグロビン (g/dL)	11.1 ± 1.1	11.0 ± 1.2	10.8 ± 1.4
アルブミン (g/dL)	3.4 ± 0.4	3.4 ± 0.4	2.9 ± 0.5
CRP (mg/dL)	0.67 (0.0 - 21.6)	0.14 (0.0 - 30.1)	0.92 (0.02 - 18.3)

死因：感染症 22% (N=35：肺炎 20例、敗血症 14例、その他 1例)、心臓大血管病 15% (N=24：心不全 14例、急性心筋梗塞 4例、大動脈解離 4例、その他 2例)、がん 7%、老衰 7%、その他。

<まとめ> 当該治療患者コホートの粗死亡率は全国平均より低かった。治療に伴う患者への医学的不利益は報告されていない。

研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等）
第71回日本透析医学会学術集会・口演発表（2026年6月19日、中山昌明）